

四季を紡ぐ

冬は山の真白い姿を見つめ
春は空のこいのぼりを仰ぎ見る。
夏は地を照らすちようちんの明かりに見とれ
秋は風に吹かれる樹々の美しさを愛でる。

手稲の豊かな自然は、四季折々にさまざまな情景をわたしたちに見せてくれます。そして一人ひとりの区民の皆さんも、その時、その場所で、新しい表情を見せてくれました。今月は、そんなふるさと「ていね」の一年を、写真で振り返ります。

「よく狙って・・・それっ!!」
(2003年手稲山雪の祭典) ▶

美しい桜が会場を彩ります
(ていねがるがわ桜まつり) ▼

冬

(1~3月)



▲こいのぼりが元気よく大空を泳ぎます
(がるがわ 軽川の上にこいのぼりを設置)

(4~5月)

春

